

2020年度第2回阪神競馬特別レース名解説

<第1日>

○ 君子蘭賞

君子蘭（くんしらん）は、ヒガンバナ科クンシラン属の総称。原産は南アフリカで、日本へは明治時代に伝わった。春にオレンジ色で広漏斗状の花をつける。花言葉は「高貴」「誠実」。

○ 天神橋特別

天神橋（てんじんばし）は、大阪府大阪市にある橋および町名。名は、市民から「天満の天神さん」と呼ばれる大阪天満宮が管理していたことに由来する。難波橋、天満橋とともに浪華三大橋と称され、付近には日本一長い商店街として知られる天神橋筋商店街がある。

○ 毎日杯（GⅢ）

本競走は、昭和29年に創設された重賞競走。創設当初は『東京優駿（日本ダービー）』の直後に実施されていたが、46年に実施時期が3月に繰り上げられた。また、平成19年に実施距離が2000mから1800mへと短縮された。

毎日新聞社は、東京・名古屋・大阪・北九州に本社を置く新聞社。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第2日>

○ 四国新聞杯

四国新聞社は、香川県高松市に本社を置く新聞社。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

○ 武庫川ステークス

武庫川（むこがわ）は、兵庫県南東部を流れる川。延長約66km。兵庫県丹波篠山市に源を発し、青野川や羽束川などの多くの支流を集め、下流で逆瀬川、仁川などを併せて大阪湾に注ぐ。また、阪神電鉄武庫川駅は、武庫川に架かる橋梁上にホームがある全国的にも珍しい駅である。

○ 六甲ステーキス（L）

六甲（ろっこう）は、神戸市灘区の地名。兵庫県南東部に位置する六甲山は、周辺の鉢伏山・鉄拐山・石楠花山・摩耶山などと六甲山地を形成し、その最高峰に位置している。冬季を中心に六甲山系から吹き降ろす強い寒風を「六甲凧（おろし）」と呼び、プロ野球球団「阪神タイガース」の球団歌の通称としてその名が知られている。

<第3日>

○ 三木ホースランドパークジャンプステーキス

三木（みき）ホースランドパークは、平成 11 年に開園した兵庫県三木市にある馬事施設。体験乗馬などを通じて馬を身近に感じられるほか、総合馬術競技場・キャンプ場・研修センターなども併設されている。

○ アザレア賞

アザレア（Azalea）は、ツツジ科の常緑低木。花は大形で、色は桃・紅・白など多彩。台湾の原種がヨーロッパで改良され、その品種は 150 以上にのぼる。花言葉は「恋の喜び」「自制心」。

○ 明石特別

明石は、兵庫県南部、明石海峡に面する市。かつては山陽道・四国街道の分岐点の宿駅で、松平氏の城下町であった。東経 135 度の日本標準時子午線上に明石市立天文科学館がある。

○ コーラルステーキス（L）

コーラル（Coral）は、「サンゴ」を意味する英語。サンゴは、サンゴ科サンゴ属の刺胞動物の総称。また、その骨軸。サンゴの中でも深海に生息する硬質のものは古くから宝石として珍重されている。

<第4日>

○ 千種川特別

千種川（ちくさがわ）は、中国山地を源とし、兵庫県の南西部を流れる川。環境省によって選定された名水百選のひとつ。赤穂市の全給水量のおよそ半分を賄っている。

○ 難波ステークス

難波（なんば）は、大阪市中央区から浪速区にまたがる地名。なんば駅を中心とする一帯のこと。道頓堀、千日前などととも「ミナミ」と称される繁華街をなす。

なお、ミナミの中心施設のひとつでもある「なんばパークス」内には、JRA の場外勝馬投票券発売所であるウインズ難波がある。

○ 大阪杯（G I）

本競走は、昭和 32 年に創設された重賞競走。創設当初は 1800m で実施されていたが、47 年に 2000m となり、56 年に実施時期が 3 月上旬から約 1 ヶ月繰り下げられた。春季競馬における古馬中距離路線の一層の充実を図るため、平成 29 年に G I 競走へ格上げされ、現在に至る。

○ 鳴門ステークス

鳴門（なると）は、徳島県北東部の市。かつては製塩業で発展し、現在は製薬業・養殖業・農業が盛ん。同市の東部に位置する鳴門海峡は、内海側の播磨灘と外洋側の紀伊水道との干満による海面差が大きいため、潮の流れが速くなり、渦潮が生じることで知られている。

<第 5 日>

○ 丹波特別

丹波（たんば）は、旧国名のひとつ。現在の京都府中部と兵庫県東部にあたる。本能寺の変で主君の織田信長を討った明智光秀が領有していたことで知られる。日本六古窯のひとつである丹波立杭焼が有名。

また、兵庫県東部の市。同市は平成 16 年に氷上郡の柏原・氷上・青垣・春日・山南・市島の 6 町が合併して誕生した。

○ 白鷺特別

白鷺（しらさぎ）は、サギ科の中でも白い鳥の総称。日本にはダイサギ・チュウサギ・コサギなどが生息している。世界文化遺産で国宝の姫路城は、その白亜の美しさから「白鷺城」とも呼ばれている。

○ サンケイスポーツ杯阪神牝馬ステークス（GⅡ）

本競走は、昭和 33 年に『阪神牝馬特別』として創設された重賞競走。平成 13 年には、『阪神牝馬ステークス』へと競走名が変更された。創設以来、数回の距離変更を経て 19 年からは 1400m で実施されてきたが、28 年から 1600m に延伸して実施され、『ヴィクトリアマイル』の前哨戦としての位置付けをより色濃くしている。なお、第 1 着馬には同年のヴィクトリアマイルへの優先出走権が与えられる。

サンケイスポーツは、産業経済新聞社より発行されているスポーツ紙。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第 6 日>

○ 天王寺特別

天王寺（てんのうじ）は、大阪市の区。また、同区と阿倍野区を含めた地域の総称。名は、聖徳太子が建立したとされる四天王寺に由来する。商業施設が数多く立ち並び、「キタ」「ミナミ」に次ぐ、大阪市有数の繁華街となっている。

○ 忘れな草賞（L）

忘れな草（わすれなぐさ）は、ヨーロッパ原産のムラサキ科の多年草。春に尾状に巻いた花序を出し、青紫色などの小花をつける。花言葉は「真の愛」「私を忘れないで」。

○ 大阪－ハンブルクカップ

本競走は、大阪市と友好都市提携しているドイツ・ハンブルク市と、競馬を通じて国際親善を深める目的で平成 9 年に創設された交換競走。

ハンブルク（Hamburg）は、ドイツ北西部に位置するドイツ第二の都市。同市にあるハンブルク競馬場では、阪神競馬場との交換競走として『Hanshin Cup』が実施されている。

○ 桜花賞（GⅠ）

本競走は、イギリスの『1000 ギニー』に範をとり、昭和 14 年に『中山 4 歳牝馬特別競走』として創設された重賞競走。牝馬 3 冠競走（桜花賞・優駿牝馬・秋華賞）の第一関門となっている。創設当初は中山競馬場の 1800m で実施されていたが、22 年に京都競馬場へ舞台を移し、実施距離を 1600m へ変更したのを機に現在の競走名となった。その後、25 年に開催場が阪神競馬場に移され、現在に至る。

なお、第 5 着までの馬には優駿牝馬（オークス）への優先出走権が与えられる。

○ 梅田ステーキス

梅田（うめだ）は、大阪市北区西部の一地区。明治7年に現在のJR大阪駅が開設されてから急速に発展し、JR・阪急電鉄・阪神電車・地下鉄・バスなどが集中する、関西一の大ターミナルとなった。大阪駅、梅田駅周辺には「キタ」と呼ばれる繁華街が広がる。

なお、同地区にはJRAの場外勝馬投票券発売所であるウインズ梅田がある。

<第7日>

○ 蓬莱峡特別

蓬莱峡（ほうらいきょう）は、兵庫県西宮市にある峡谷。六甲断層の断層破碎帯にできた景勝地で、花崗岩の崩れた断崖が形成されている。また、六甲山地の代表的な登山ルートとして広く知られている。

○ 陽春ステーキス

陽春（ようしゅん）は、暖かな春のこと。陰暦正月の異称でもある。

○ アーリントンカップ（GⅢ）（NHKマイルカップトライアル）

本競走は、アーリントンインターナショナル競馬場との交換競走として実施される。平成4年に同競馬場と阪神競馬場が姉妹競馬場として提携し、現在の名称となった。

アーリントンインターナショナル競馬場は、アメリカ合衆国イリノイ州にあり、シカゴの北西に位置する。昭和56年から実施されている『アーリントンミリオン』は、世界で初めて賞金総額が100万ドルとなったレースとして有名。また、同競馬場では阪神競馬場との交換競走として『Hanshin Cup』が実施されている。

なお、第3着までの馬にはNHKマイルカップへの優先出走権が与えられる。

<第8日>

○ 山陽特別

山陽（さんよう）は、山陽地方、または山陽道の略。山陽地方は、本州の瀬戸内海側に位置する地方。瀬戸内海に面し、瀬戸内海式気候が見られる。山陽道は、古代に定められた五畿七道のひとつ。また、山陽自動車道の略称。

○ 御堂筋ステーキス

御堂筋（みどうすじ）は、大阪市北区と中央区の2区を南北に通じる約4kmの幹線道路。名は、本町付近の西側沿いに西本願寺別院の北御堂と、東本願寺別院の南御堂があることに由来し、沿道のイチョウ並木は市のシンボルとなっている。

○ アンタレスステークス（GⅢ）

本競走は、平成 8 年に創設された重賞競走。翌 9 年に京都競馬場へと舞台が移されたが、24 年より再び阪神競馬場へ移設され、現在に至る。また、創設当初はハンデキャップ戦であったが、15 年より別定重量戦へと負担重量が変更となった。

アンタレス（Antares）は、さそり座のアルファ星で、直径は太陽の約 700 倍とも推定される赤色超巨星。ギリシャ語で「火星に対するもの」の意。